15

國家機密

最高戰爭指導會議
決定第四號

「今後採ルヘキ戰爭指導ノ大綱」ニ基ク
物的國力運營ノ基礎事項ニ關スル件

昭和十九年九月十九日

20部内第20號

左記ニ依リ國力ノ戰力化ヲ促進ス

一、昭和十九年末迄ニ於ケル戰力化スヘキ標準左ノ如シ

イ、昭和十九年度航空機ノ生產目標ハ四万二千機以上トシ特ニ之カ爆上生產並質ノ確保ニ最大ノ努力ヲ致スモノトス

尙小型特種飛行機ノ整備ヲ促進シ且「アルミニユウム」代用資材ノ使用强化ニ依リ生產量ノ增加ニ努ム

74

0782

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ロ、海上交通保全ノ為更ニ徹底セル措置ヲ講ス

ハ、新兵器ノ補塡取置等ハ国防産業部門ニ及ホスヘキ影響ヲ考慮シテ決定ス

二、戦争完遂ニ必要ナル国力維持ノ為左記諸施策ヲ講ス

イ、鉄道輸送力並小運送ノ増強ヲ図ル為ニ大陸一貫輸送ニ付テハ実質的一元運営ヲ為シ得ル如ク速カニ措置ス

ロ、甲造船ノ建造量ハ一応約一八〇万頃ニ改ムルト共ニ修理ノ促進ヲ重視ス

ハ、乙造船ニ関シテハ修理ノ徹底ヲ重視シツツ十九年度貨物船建

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

造目標ハ概ネ三十万總噸（内油槽船十万總噸以上）トシ特ニ油槽船ノ總上建造ニ努ム

尚別ニ代用燃料便用木船、曳船及浮ヲ急速ニ整備スルト共ニ帆船ノ國家的活用ヲ圖ル

ニ、二十年度ニ於テ日滿支資源ニ依ル「アルミニウム」十二万噸以上（滿洲及北支ニ於テ生産セルモノヲ除ク）ヲ確保シ得ル如ク措置ス

ホ、液体燃料ノ自給力増強ノ爲極力日滿支ニ於テ原油、人造石油「アルコール」ノ増産ヲ圖ルノ外「クレオソート」、油脂ヲ動

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

員シ又特ニ代用燃料タル薪炭ノ増産ヲ圖ル

尚南方石油還送力維持ニ付強力ナル方途ヲ講ス

三、勞務配置ニ關シテハ物動計畫配當方針ニ則リ極乎タル調整ヲ強行ス就中工場ニ於ケル過剰勞務者ノ配置轉換ヲ急速ニ實行ス

四、本年後期一切ノ徹底的戦力化ヲ期シ在庫未濛動物資ノ徹底的動員ヲ行フ

五、第三、四半期ニ於テハ極力當面ノ決戦戦力增強ニ重點ヲ置ク

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

備考

(1)今後ノ國力ニ關シテハ速カニ徹底的檢討ヲ行ヒ之カ增强ニ努ムルモノトス

(2)二十年度ニ於ケル航空機生産量及造船量等ニ關シテハ別途速カニ檢討ノ上之ヲ定ム

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp